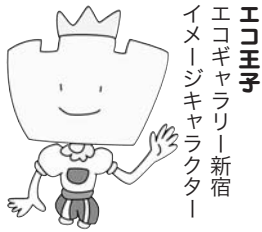


22年度の区の環境改善結果 ISO14001を 推進しています



区では、一事業者として率先して環境改善に取り組むため、ISO14001の認証を取得し、電気・ガス・水などの使用量の削減を進めるとともに、環境に有益な活動を心掛けています。今回は、22年度の取り組みの概要をお知らせします。

【問合せ】環境対策課環境計画係（本庁舎7階）☎（5273）3763へ。

◎電気・ガス・水・ガソリン・用紙類の使用量、ごみ排出量の削減
22年度は「平成17年度の使用量等から1.5％削減する」ことを目標としました。水使用量・ごみ排出量は目標を達成しましたが、その他は目標の達成には至りませんでした。

電気使用量の増加は、第2分庁舎分館の使用開始・区民施設の開館時間の延長・学校の夜間開放等に加え、昨年 の猛暑での空調機器使用の増や、学校の特別教室への空調機器の導入、教員用パソコンの増等によるものです。ガス使用量は空調機器の使用増が、ガソリン使用量はごみ収集用小型車両の使用増が増加の主な原因です。用紙類の使用量は、昨年の国勢調査の実施等で増加しました(下表)。

今後も高効率機器・低公害車の導入と業務の効率化に取り組みます。

◎良好な環境の創出を目指す活動
区有施設に、太陽光発電や雨水利用設備を積極的に導入しています。22年度は、太陽光発電設備4か所(出力合計50kW)、雨水タンク9基を設置しました。また、22年5月に群馬県に「新宿の森・沼田」を開設し、区外の森林整備を通じ、カーボン・オフセット事業(森林保全で増加した二酸化炭素吸収量を区内の二酸化炭素排出量から相殺)や、環境教育などにも力を入れています。

ISO14001の推進結果（学校を除くすべての区施設）

項目	17年度実績(基準年度)	22年度実績（増減率）
電気使用量	25,065,441kWh	26,130,080kWh（4.2%増）
ガス使用量	2,107,866㎡	2,211,028㎡（4.9%増）
水使用量	533,825㎡	467,930㎡（12.3%減）
ガソリン使用量	47,043ℓ	51,255ℓ（9.0%増）
用紙類使用量	61,432,752枚	76,864,254枚（25.1%増）
ごみ排出量	816,359kg	677,252kg（17.0%減）

ISO14001の推進結果（学校）

項目	17年度実績(基準年度)	22年度実績（増減率）
電気使用量	7,910,608kWh	8,578,934kWh（8.4%増）
ガス使用量	1,027,871㎡	1,110,207㎡（8.0%増）
水使用量	295,736㎡	273,065㎡（7.7%減）
用紙類使用量	16,149,209枚	17,056,014枚（5.6%増）
ごみ排出量	314,320kg	325,918kg（3.7%増）

行政評価（内部評価） 実施結果をお知らせします

区が行う行政活動は、区民の皆さんの生活にどのような成果をもたらしているのか、区では、区民の方の視点で事業を検証・評価する「行政評価制度」を実施しています。

行政評価には、区が実施する「内部評価」と、外部評価委員会による「外部評価」があり、次の4つの達成を目指しています。

▼行政評価を活用した「計画・実施・評価・見直し」の仕組みの確立

▼これからの公共サービスのあり方の見直し・効率的な区政運営の実現

▼説明責任の確保・区政の透明性の向上

▼行政の体質改善

23年度は、22年度に実施した第一次実行計画(平成20～23年度)の135事業を対象に、内部評価を実施しました。評価結果を第二次実行計画(24～27年度)の策定に反映させるため、新たに「第二次実行計画の方向性(見込み)」の項目を追加しました。今回は、評価結果の概要をお知らせします。

評価結果報告書は、行政管理課・区政情報センター(本庁舎1階)・特別出張所・区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また、区政情報センターで有償頒布しています。

【問合せ】行政管理局(本庁舎3階)☎(5273)4245へ。

●評価結果の概要

まちづくりの方向性を明らかにした「まちづくり編」の90の事業では、A評価は「保護者が選択できる多様な保育環境の整備」「清潔できれいなトイレづくり」「アスベスト対策」「景観に配慮したまちづくりの推進」の4事業、C評価は「特別区のあり方の見直しと自治権の拡充」「新型インフルエンザ対策の推進」「エイズ対策の推進」「特別な支援を必要とする人への居住支援」「区営住宅の再編整備(早稲田南町地区)」「新宿らしい都市緑化の推進」「地域活性化バスの整備促進」「地区計画等を活かした地域の個性豊かなまちづくりの推進」「地域のお宝発掘」の9事業でした(下表1)。

まちづくり編を推進・下支える「区政運営編」の45の事業では、A評価は「自動交付機の運用」、C評価は「区政の効率性を高めるためのIT利活用の推進」でした(下表2)。

●今後の課題

これまでの行政評価は、区政運営の中で優先度の高い、第一次実行計画事業を評価してきました。しかし、不透明な社会経済情勢や厳しさを増す区の財政状況などを踏まえ、区が実施している事業のあり方や必要性を抜本的に検証するため、第一次実行計画事業のほか、経常事業も評価することとしました。一部の経常事業についての評価を23年度中に試行・検討し、24年度から本格的に実施していきます。

表1 第一次実行計画事業の評価（まちづくり編）

評価	最終年度(23年度)に向けた方向性					計
	継続	改善	拡大	休廃止	その他	
A	2	0	2	0	0	4
B	51	14	9	2	1	77
C	5	2	0	1	1	9
計	58	16	11	3	2	90

評価基準
「A」計画以上に進んでいる
「B」計画どおりに進んでいる
「C」計画どおりに進んでいない

表2 第一次実行計画事業の評価（区政運営編）

評価	最終年度(23年度)に向けた方向性					計
	継続	改善	拡大	休廃止	その他	
A	0	0	0	0	1	1
B	34	4	2	2	1	43
C	0	1	0	0	0	1
計	34	5	2	2	2	45

新宿の魅力発見 ◆ 商店街探訪 ③ 牛込中央通り商店会



産業振興や地域の安全・安心を支えるなど、コミュニティの核となる商店街の取り組みを、シリーズで紹介していきます(10回予定)。

【問合せ】産業振興課産業振興係☎（3344）0701へ。

環境に優しいエコ街路灯

牛込中央通り商店会は、大久保通りと牛込中央通りの牛込北町交差点を中心に位置し、笹笥町・細工町・納戸町・拡方町など歴史ある町名が残る住宅街の一角にあります。商店会では平成20年8月、ハイブリッドソーラー街路灯(写真)12基と、通常より消費電力の少ない電球を使用したエコ街路灯32基を設置しました。ハイブリッドソーラー街路灯にはプロペラとソーラーパネルが付き、風力発電と太陽光発電の自然エネルギーで照明の電力をまかなっています。環境に配慮した街路灯の設置で、年間約6.6トンの二酸化炭素排出量を削減することができました。

また、「過剰包装を断ろう」など、普段の生活の中での身近な環境への取り組み



区内で初めて設置されたハイブリッドソーラー街路灯

みを示した「エコ宣言」を、商店街マップに掲載しているほか、毎年8月下旬に開催する夏のイベントでは、打ち水を実施しています(今年は8月28日(日)に「牛込中央通り商店会夏祭り」を開催)。

商店会には、和食・中華料理・イタリア料理・フランス料理・スペイン料理など、さまざまな国のレストランがあります。食事を楽しんだ後は、自然エネルギーを利用した街路灯にも注目してみてください。今夏の電力供給不足で「節電」への関心が高まる中、いち早く環境問題に取り組んできた牛込中央通り商店会では、街路灯がエコ活動のシンボルになっています。